

のびのび 田底っ子

第43号

文責：校長 益永 一幸

田底小版「校則見つめ直し」～プロセスと実践を大切に～

【見つめ直しの議題】

- ① 昨年度作った「田底小メディアルール」のふりかえり
- ② 「田底小学校のくらし」の見つめ直し

- ・子ども主体の合議のプロセスに
- ・保護者や地域の方の意見も入れて

【取組の流れ】

11月	<ul style="list-style-type: none"> ・校長講話（校則見つめ直しの意義） ・アンケート実施、集計 ・テーマ設定・各学級で話し合い（学級活動等）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会総会（全校児童で意見を出し合う） ・保護者へのアンケート（児童会総会の内容について） ・校則見つめ直し委員会（児童代表、保護者・地域関係者、学校） ・2学期終業式後に、なかよし運営委員会が決まったことを発表
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・田底小学校校則見つめ直しの結果を公表（HP、学校だより）

【決まったこと・これから実践していくこと】

① 昨年度作った「田底小メディアルール」のふりかえり

○児童会総会で出された守れる工夫

- ・自分に合ったやり方でルールを守る
- ・家でのルールを守る
- ・タイマーをセットして行う
- ・メディアを大人にあずける

○校則見つめ直し委員会で出された意見

- ・メディアルールを決めている家庭が少ないのではないか。
- ・メディア以外の生活の過ごし方を家族で考えるようにしたい。

- ・校則見つめ直し委員会の大人の意見を実践化しました。
- ・お家の方の協力で、生活のリズムが整います。

○実践したこと

- ・冬休み前に「冬休み！メディアルールを守ろう」を全児童に配布。「わが家のメディアルール」「冬休みのふりかえり」「おうちのかたの感想」を書いて3学期始業式に提出。

② 「田底小学校のくらし」の見つめ直しについて

○議題に上がった校則

「ものの貸し借りはしません。ただし学習に必要な物だけは先生に伝えて借りることができます。（忘れ物はしません）」

○児童会総会で決めたこと

「兄弟間での貸し借りは認める」を追加した方がいい

○校則見つめ直し委員会で出された意見

- ・兄弟がいない人との差が出るのではないか。
- ・先生と相談したら、兄弟姉妹から借りることができるようにしてはどうか。

○決定（校長確認）

「ものの貸し借りはしません。ただし学習に必要な物だけは先生に伝えて借りることができます。（忘れ物をしたら先生に伝えます）」先生と相談して、兄弟姉妹から借りることができます。

